

公益財団法人東京しごと財団委託事業 東京都補助事業

東京ジョブコーチ



東京ジョブコーチ職場定着支援事業広報紙(年2回発行)

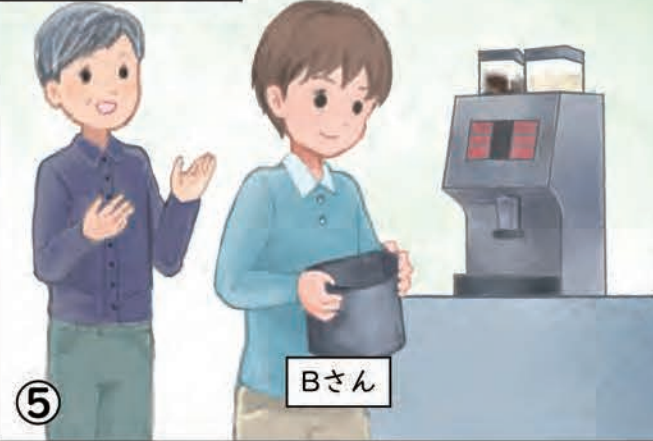
2024春
第24号

〈Ⅲ. afterコロナの支援事例〉

事例1

[コーヒーサーバーのメンテナンス]

東京ジョブコーチ



コロナ禍中止していた
コーヒーサービス再開に伴い
障害のある社員Bさんが
メンテナンスの一部を担当
することになった。

ジョブ
コーチの
支援内容

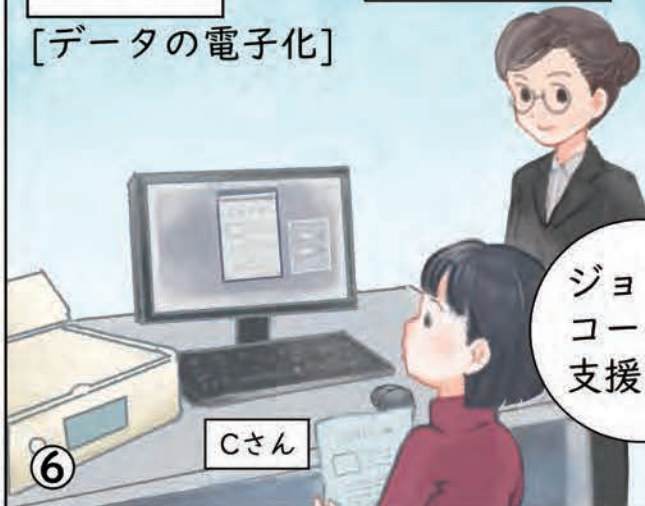
- ・対象者に合わせた
手順の確立
- ・習得のための支援
- ・チェックリスト作成



事例2

[データの電子化]

東京ジョブコーチ



ペーパーレス普及に伴い、資料の
電子化作業を障害のある社員Cさん
が担当することになった。

ジョブ
コーチの
支援内容

- ・作業手順のマニュアル化
習得のための支援
- ・障害特性や業務適性の社内通知、
説明による新たな業務創出のため
のサポート

〈Ⅳ. 東京ジョブコーチの役割について〉

1. 切り出し・・・原則、企業より提案を受けた業務の習熟・定着のための支援を行いますが、業務の切り出しについても相談に応じます。
2. 双方からお困りごとをうかがいながら業務やコミュニケーションがうまくいくように調整(橋渡し)を行います。
3. ナチュラルサポート・・・支援終了後も安定的に働き続けるための職場環境調整のアドバイスを行います。

～お知らせ～

障害者雇用を進めるにあたって多く聞かれる課題の一つに業務創出・切り出しがあります。そこで今号では、コロナ禍による変化と、それに伴ってみられた特徴的な支援事例をご紹介します。

雇用後の定着そしてさらなる活躍に繋げるための業務習熟・定着に向けて、東京ジョブコーチをご活用いただければと思います。

東京ジョブコーチ支援センター センター長 石井 真由美

表紙の絵 作品名：「夢の樹」

作者：ワークセンター夢の樹 就労移行のメンバーたち

■表紙作品について

事業所の名の「夢の樹」をイメージして作りました。いろいろな素材を組み合わせでコラージュのようにしています。素材や配置を相談したり編み物で雲や地面を表現したりと、みんなで協力して作った作品です。活動の中にある創作活動の時間を使って作成しました。創作活動では塗り絵や工作、手芸などをしており、訓練中の良いリフレッシュになっています。



■ワークセンター夢の樹（小平市）

約10名のメンバーが平日9時～17時の通所の中で企業就労に向けた準備をしています。PCやピッキング、ビジネスマナーといった訓練プログラムが中心ですが、リフレッシュを目的として運動や創作活動などにも取り組んでいます。就労を目指す上で安定した勤怠やスキル、ビジネスマナーはもちろん大切です。

けれど長く働き続けるために、ご自身に合ったリフレッシュ方法が見つけられると良い…そんな思いから取り組み始めた創作活動プログラム。メンバーからは良い息抜きや気分転換になると好評です。

Contact us

▶東京ジョブコーチ事業利用のご相談、ご依頼に関すること

東京ジョブコーチ支援センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-11-2 フロンティア代々木3階

(2023年10月より、ビル名が変更になりました。)

TEL(03)3378-7057 FAX(03)3378-7058

Eメール tokyo-jc@ikuseikai-tky.or.jp

ホームページ <https://www.ikuseikai-tky.or.jp/~iku-tokyo-jc/>

▶事業全般に関すること

公益財団法人 東京しごと財団

総合支援部 障害者就業支援課 コーディネート事業係

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター8階

TEL(03)5211-2682

ホームページ <https://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

